

事務事業名	老人福祉施設修繕事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉G	課長名	中島 豊
施策名	(18) 高齢者福祉の充実	担当者名	糸原 幸子	電話番号 (内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(053) 老人福祉施設等の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 015 315 115	老人福祉施設修繕事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	市が設置し民間に指定管理をお願いしている老人福祉施設の建物や設備の修繕を実施。23年度事業については、22年度からの繰越を行った「住民生活に光をそそぐ交付金」を一部充当した。23年度実施した修繕件数は21件。	市が設置の老人福祉施設は、ほとんどが設置後10年以上を経過しており、老朽化により年々その修繕の頻度が増ってきている。 設置年度：大東地域福祉センターH9、三刀屋健康福祉センターH8、えがおの里H11

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
市所有の老人福祉施設の修繕工事	事業費		13,913	22,461			
● 需用費(修繕費) 5,125,155円	国庫支出金						
● 工事請負費 20,870,850円	県支出金						
● 備品購入費 1,618,680円	地方債						
繰越算分27,274,065円、現年予算分340,620円	その他						
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	一般財源		1,262	5,154	800	500	
① 施設からの修繕要望・協議 ② 入札・契約手続き ③ 検査・支払い	事業費計(A)	0	15,175	27,615	800	500	
	正規職員従事人数		9	8			
	延べ業務時間		300	300			
	人件費計(B)	0	1,166	1,183	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	0	16,341	28,798	800	500	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・えがおの里 吸収冷温水機部品洗浄作業・ボイラー熱交換器取替、好老センター空調設備更新工事・ナースコール更新工事、掛合高齢者生活福祉センターテレビ等備品整備ほか 計21件	⑤ 活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) えがおの里…吸収冷温水機操作盤部品交換、食器洗浄機ガスブースター入替、好老センター…居住棟白蟻防除	ア 市有の老人福祉施設数	施設	0	24	24	24	24	
		イ 老人福祉施設の修繕件数	件	0	10	21	3	2	
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	65歳以上の市民	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 65歳以上の人口	人	13,990	13,760	13,771	14,113	14,285	
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	生きがいを持って、いきいきと暮らす。	ア 修繕発生により施設が使用できなくなった日数	日	0	0	0	0	0	
		イ							
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.4	70	72	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
市有老人福祉施設は、老朽化によりここ数年、修繕箇所が急増している。	指定管理先の法人と修繕要望に係る協議を行っている。修繕の緊急度等により、優先順位を付けて実施している。	早期の修繕実施を要望されている。

事務事業名	老人福祉施設修繕事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 施設の修繕を行うことにより、安心して施設を利用することができ、生きがいの場を維持することができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が設置した施設である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 高齢者が対象となっている施設である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 年々修繕箇所が増えており、修繕費の確保が難しい。要望に対しては、優先順位を付けて実施している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 修繕の内容によっては、施設の使用ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 緊急性がある必要最低限の修繕しか実施していない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 実際の修繕事務は、該当の総合センター保健福祉課で実施している。事務の性質上、正規職員以外はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 修繕事業であり、受益にはあたらない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設の中には設置後20年を経過するものもあり、雨漏りや空調等の設備不具合など緊急を要する修繕が急増している。限られた予算の中で必要最低限の修繕を実施している。修繕の必要が出た際には、できるだけ早急な対応を行うよう努力している。設備については、長期的な修繕計画が必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
特になし																									